

東京片貝会報

発行所
東京片貝会
東京都江東区高橋5-1-313
電話 (3632) 0 1 5 6

ふるさととは何だろう

語りあって、みんなで考えよう

平成3年6月30日(日) 午後一時開会
会場・東京新潟県人会館

片貝に生まれ、片貝で育った者同志で、なつかしい思い出、ホットな近況など、心ゆくまで語りあいましょ。

片貝会の今後のことも、自分達の明日のことも。大きな前進を期して。郷里からのお客様も、大勢お出でになります。

記

一、日時 平成3年6月30日(日) 午後一時(正午より受付)

一、会場 東京新潟県人会館(台東区上野1丁目13-6)

営団地下鉄「湯島」二分(千代田線)、「上野広小路」六分(銀座線)、JR「御徒町」七分

一、会費 五〇〇〇円(料理・飲み物・果物など)

一、お願い 返信は6月20日までに届くようお願い申し上げます。

母校を励ます会 講師きまる 松岡規子さん

松岡さんは町裏の出身、旧姓は本田。長岡商業高校を卒業して、国立の高等看護学校へ入学。修了後は心臓血管研究所に勤務されたが、現在は早大の理工学部の保健室で、

学生の健康管理に専念されている。又地域では、コーラス会の会長として、地方文化の発展に寄与されている。

三男の母、狭山市に在住。講演は十月を予定している

会の動き

叙祝賀会に会長出席

前号にお知らせした本田善治氏の叙祝賀会が、昨年の暮に小学校の体育館で開催された。勝又会長が出席。会場を埋めるほどの盛会であった。12月23日

新年会 1月27日
東京新潟県人会館にて
2面参照

青櫛花見の旅(第12回)
3面参照、4月13・14日

第32回総会 6月30日予定

人の動き

小林敬司氏逝去 2月19日
小林さんは会の創立時代か

市会議員決まる
定数二十五名のところ、三十名の立候補で、激しい選挙戦だった。片貝は、療養中の芝与三郎氏が辞退、代わって高見の吉原正幸氏が初出馬ながら、トップ当選だった。

関 広一氏 六回目
小林光紀氏 二回目
安達 稔氏 二回目

小・中の校長先生異動
春の定期異動で、小学校へは十日町から、渋谷正教先生中学校へは大巻から、瀬沼康生先生が着任された。前の吉原幸至先生は定年退職

前同様、四名当選された

葬儀には、同級生が多数参列した。また前佐藤会長の姿もみられ、在りし日を語り合いつつ、別れを惜しんだ。

神林徳次さん、怪我
役員として、会の発展のために尽くしてこられた神林さんが、昨年の暮に自転車事故で骨折された。

その後治療につとめられ、順調に回復されている。会に出席される日の早からんことを祈っています。

佐久間昭夫先生は長岡へ転任。

大正14 昭和9 16 18 21 22 34 35 36

大正11 昭和18

異谷原出谷美 長吉小本石忍黒渡広 吉原山

動イ枝子 子孝子去策氏 菊ミ代 良芳信雅 賢治

(平成3年1月以降) 171 豊島区早町3-23-5 226 豊島区早町3-1351-1

187 小平市中島町5-5 (03-3643-9667) 350-13 狭山市広瀬1594(児島)

331 狭山市三橋6-1249 シテイハイツ4-102 (048-625-1943) 181 大宮市牟礼5-1-11 (0422-45-2203) 153 目黒区下目黒2-16-16

3月30日 昭和2 小林 敬司氏 2月19日

フォレストヒルズ10-406 (045-935-5980)

大正14 昭和9 16 18 21 22 34 35 36

大正11 昭和18

大正14 昭和9 16 18 21 22 34 35 36

大正11 昭和18

大正14 昭和9 16 18 21 22 34 35 36

大正11 昭和18

大正14 昭和9 16 18 21 22 34 35 36

春は希望に満ちて 新年会は盛会でした

平成3年1月27日 1時
東京新潟県人会館で

寒い日が続いているが、冬晴れのすがすがしい日である。

海の方こうでは、激しい戦争が始まっていて、重苦しい気分がただよっている。が、今日の出席者は、ほぼ会場を埋めるほどだった。

黒崎 正さんの司会で開催
勝又会長のあいさつ——とうとう湾岸戦争が始まりました。残念ですが、今日は互いに歓談して、楽しく過ごしましょう。



昨年の暮に、本田善治氏の
祝賀会があつて、出席しました。盛会であつたと報告された。
続いて佐藤祐一さんより
母校を励ます会のために、
日頃からのご支援を謝し、郷里に帰ったら、いろいろと感謝の言葉やら要望があつたという。
ブラウン管を通した話ではなく、直接生きた体験談を聞くのは、感銘が深い。黒崎敬潔氏の話はすばらしかった。
土曜の夜とか、日曜にあると、一般の人が沢山出席できるのに、との意見も聞いた。

しかし主な対象が生徒なので、それは無理と思ひます。
これまでは男性の講師ばかりだった。今後はぜひ女性にもお願いしたい、との新提案がなされた。
浄照寺からの祝電が披露されて、佐藤量八さんの乾杯で懇親会に入った。

春の青櫛荘への花見の旅は四月十三・十四日に計画したい、との発表があつて、いっそう雰囲気は盛り上がりつぎた。

やがて福引が始まった。今回も二十数名の方々が、すばらしいお年玉の寄贈があつた。

毎回浄照寺から、オリジナルの布巾が贈られてきて、更に会としても補充して、多様なお年玉となつた。
袋を開けると、思いがけない品々が出てきて、みんなを喜ばせた。

歌つて、踊つて、そして心ゆくまで語りあつて、最後はみんなで木遣り唄の大合唱となつた。
さようなら、また合う日まで。五時近く閉会した。

箕輪先生は九十才近い高令なのに、遠路ご出席いただいた。みんなの感激はひとしおだった。



出席者 75名

- ・ 恩師 箕輪みね
- ・ 大正 高桑キイ 吉原ヤウ
- 佐藤正雄 水内修治 安達徳太郎
- 佐藤量八 高橋清雄 山口富次
- 安達宗吾 神林マス 山口福次
- 石黒ミス
- ・ 昭和21 10
- 小川茂雄 相崎勇次 小野塚マツ
- 山口ヨシ 本田政秀 早川松太郎
- 丸山広弥 芝 五郎 吉井武二
- 丸山 春 浅田鉄二 相崎善次郎
- 芋川とし 藤田睦子 山口三郎
- 吉原彦作 黒崎孝造 黒崎敬五郎
- 小宮竹次 大内登世 田口タズ
- 勝又 功 朝妻ヨシ 大矢幸治
- 佐藤彦一 内野アツ 小宮良夫
- 三井ミヨ 日下部政子
- ・ 昭和11 20
- 和田豊次 高橋四郎 山口福次
- 小宮秀夫 丸山恵次 太刀川善蔵
- 安達保治 大矢常吉 山田美代治
- 浅田鉄夫 山田チエ 岸野タカ子
- 丹治きみ 青木富代 石原ミツ
- 桜井照子 小宮八重 佐藤道雄
- 小宮幸雄 山口光雄

- ・ 昭和21 30
- 山岸慶昭 黒崎 正 大塚順一
- 相崎達一 小野塚茂 大坂照子
- 渡部幸子 松川セイ 石川春子
- 佐藤祐一 安達進 安藤真理子
- ・ 昭和31 32
- 藤塚 悟 諸我時夫

○当日お祝いをいただいた方
箕輪先生 青櫛荘 安達宗吾
黒崎孝造 本田松次

ふるさと余聞

'90十大ニュース

12月31日の有線放送で、毎年発表されている。一般市民の投票によるもの。今回は二百五十余名が参加した。

- 1位 本田善治氏の叙勲
- 2位 中学校がバスケットで北信越大会に出場
- 3位 小学校が虫歯予防の研究究校として優秀校に選ばれる
- 4位 県の花いっぱいコンクールに中学校が受賞
- 5位 農協ガソリンスタンド新設
- 6位 市営住宅の建設開始
- 7位 芸能保存会が発足
- 8位 相崎敏氏が県の防犯協会から表彰

○福引の景品を提供下さった方
山田チエ 三井ミヨ 安藤真理子
丹治きみ 佐藤量八 日下部政子
山口光雄 佐藤祐一 佐藤彦一
大内登世 黒崎孝造 和田豊次
芋川とし 藤塚 悟 黒崎敬五郎
佐藤正雄 大坂照子 大矢幸治
以上のほかにも、いただきました。当日受け付けが混雑したために、確認できなかった方がありました。深くお詫申しあげます。いずれも敬称略。お許し下さい。

宅地開発

老朽化した寺町の市営住宅地の跡などを整理して、住宅地として売り出す計画が進んでいる。一坪八万円前後と

県議員に山崎昶氏

前広井忠男氏が五選を期したが果たさず、山崎さんが当選した。激戦を極めた。



花に魅せられ、湯につかって

青巒荘花の旅(第12回)
平成3・4・13 14

湯河原駅を下りても、雨は降りしきっている。

五時までに青巒荘集合というのを、少しでも早くとやってきたのに、ほとんどの参加者は一風呂浴びて、のんびりしているところだった。

岩風呂は熱いくらいの温度で、小雨が少しも苦にならないくらい嬉しい。

六時から懇親会に入る。勝又会長は多忙の中を駆けつけてこれ、いっそう盛りあがる。歌に踊りに、夜の更けゆくのも忘れた。

広井さんの後を受け継いでこの会の世話を下さった山田美代治さんが、去る二月に、交通事故で急死された、と聞いて、驚くばかりだった。参



佐藤 祐一 小野塚まつ 小野塚茂 相崎 達一 太刀川善蔵 黒崎 正 黒崎 四郎 高橋 孝造 佐藤 彦一 芝 五郎 勝又 功 佐藤 量八 佐藤 正雄



加者で心ばかりの甲意を表した。

翌日はバスで花見台にゆく東京の花はすでに散っていたのに、ここは正に満開。再びの花を心ゆくまで賞して、更に懇親を深めた。昼食をすませて下山する。

楽しい二日間だった。

○参加者、22名
佐藤 量八 勝又 功 佐藤 正雄 芝 五郎

吉原 勉 日下部政子
芋川 とし 藤田 睦子
松岡 規子 荒木ムツ
坂本・渡部(太刀川氏の知人)

同級会たより

生十四級友会
昨年の秋に六日町へ四十五名が集って、楽しい一夜を過ごした。これからも、合同で旅行することを約して。

新辰己会
3月3日亀戸の升本へ集って懇親会を開いた。片貝からも七名が参加して、30名の盛会となった。昨年は五十才の花火を揚げて、意気が揚ったところ。これからも相互のつながりはいっそう深まりそう

区議選で光る二氏

会員安達徳太郎さんの長男一男さんは、今春の江東区議選で見事三選を果たされた。同じく会員西山和子さんの夫君信男さんは、港区議選で四選をかちとられた。

今後のご活躍を祈ります。聴きましたか、ラジオ放送
黒崎 勇さんは前祥伝社長として、女性雑誌で活躍さ

れているのを、知らぬ人はないでしょう。

2月25日から3月2日まで六回にわたって、人生読本の時間で、出版界でのユニークな活躍ぶりを話された。黒崎さんの面目躍如としていて、楽しい放送だった。(NHK)

短 信

山口武一郎さん(昭9)
日々体調回復につとめていきます。近く参会の時を念じて

たゆみない歩み、力強く ご支援ありがとうございます

母校を励ます会

本年の一月から五月末までの五か月間に、二十五名の会員からご協力いただき、延七百三十二名の多数となりました。

この運動を始めてから、すでに満九年を経過、正に十年目を迎えています。

秋には、初めての女性先輩から、お話ししていただく、ことになっていきます。十人目の講師です。これを機会に、新しい展開を期待しているところ

つ 武藤睦子さん(昭9)
六日町と東京で、近頃は新潟暮らしの方が多くなりまし

関 冴子さん(昭16)
会報ありがとうございます。感謝

小野塚五郎(昭17)
障害を持つ身は、寒い時には出かけられません。
忍足(おしたり)良子さん
縁あって忍足に。(昭22)

これからも精一ぱいの努力をしたいと決心しておりますが、会員の皆さんからも、何かとごっくばらんなどご意見をお寄せ下さい。お待ち申し上げます。

基金をいただいた方(25名) (敬称略)
大正 佐藤 量八
佐藤 正雄 佐藤 量八
昭和2 山口 三郎
丸山 広弥 山口 三郎
勝又 功
昭和11 高橋 四郎
山口 福次

五十嵐忠作 浅田 鉄夫
昭和21 佐藤 祐一
黒崎 正 青柳 泰子
横尾ミチエ 安藤真理子
新野 三郎 小野ひろ子
五十嵐富美子
昭31 藤塚 悟
吉田 弘子 諸我 時夫
本田 孝義 渡部 信夫
黒崎 芳雄
廣沢 雅子
大阪府 大矢 三郎

母校を励ます会・会計報告

会報42号以後の収支(平成3・1・1~3・5・31)		収入 106,677		支出 0	
基金(25名)	83,000	基金(延732名)	2,533,200	寄贈図書(8回)	1,800,000
利息	23,677	利息	200,955	講演会(9回)	90,000
				印刷・郵券等	62,469
全通算会計(昭和58・5・1~平成3・5・31)		収入 2,734,155		支出 1,952,469	
基金(延732名)	2,533,200	基金(延732名)	2,533,200	寄贈図書(8回)	1,800,000
利息	200,955	利息	200,955	講演会(9回)	90,000
				印刷・郵券等	62,469
現在高		781,686			

ふるさと・はい・ま

母校の近況

○小学校
ミニバスケット優勝
長岡地区大会は、七チームが参加した。十一月二十五

日、北部体育館で。上川西チームと対戦して、大差で優勝した。次いで十二月中旬に、新潟市で開催の県大会に出場したが惜しくも破れてしまった。

年、北部体育館で。上川西小学生、中学生が出品した。絵画・版画・デザイン部門で、11名が優秀賞や奨励賞を受け、よい成績であった。

作文、明るい家庭の入賞者市の教育委員会などでは、毎年作文を募集し、文集として発行している。

ろ、十二月に結果が発表になった。入賞者が五名あったが中でも安達春香さんの作品が、優秀賞に輝いた。

市内校の陸上十傑
市の陸上協議会では、1990年の成績を、暮に発表した。その内、片貝中では、男子の八百米と砲丸投が2位、女子の砲丸投が1位に入っている。

千名も多かった。伝統行事を誇る賽の神は、今年も賑やかに行われた。午後からの福餅まき、モツクラモチがあつて、小さな賽の神に点火された。

東京片貝会・会計報告 (自平成2・4・1 至平成3・3・31)	
収入総額	¥ 1,844,954
前年度繰越金	365,754
別途積立	300,000
年会費	443,000
総会会費(44名)	220,000
新年会会費(74名)	370,000
祝儀寄付	146,200
支出総額	¥ 1,844,954
総会費	34,880
会館払	310,880
来賓みやげ	18,000
お車代	20,000
新年会費	307,289
会館払	229,289
福引雑費	3,000
お手伝手当	5,000
印刷費	24,000
会議費	22,403
通信費	130,212
会報費(41号・42号)	164,761
交際費(旅費)	34,000
慶弔費	10,000
事務費	2,000
振替手数料	18,150
別途積立	300,000
次年度繰越	483,259

上記の通り報告致します

平成3・3・31

会計部長 黒崎 孝造

上記は適正且つ正確であることを認めます

会計監査 小川 茂雄

大矢 幸治

高橋 四郎

○中学校

人権作文コンクールに入賞
長岡の人権擁護協議会が主催した講演会に、昨年の六月に三年生が全員で参加した。その後、各自で人権についての作文を提出したところ、

○今年初詣と賽の神

よいお天気に恵まれて、例年をはるかに越す参詣者で賑わった。

市立図書館の現況

市内の二十市では、低い方だという。町村でも、これを超えている所が多いそうだ。

あとがき

時の流れに順じて、少し活字を大きくしました。お気づきになったでしょうか。故郷が生き続ける限り、私達との関わりも永久と思えます。互いの前進を祈りましょう。会報もその小さな一役として。